

Topics from within

AIAA Technical Committee on Communications Systems

本誌編集委員 風神 裕

2002年10月11日 AIAA Technical Committee on Communications Systems (TCCS)が米国ヒューストン市の Four Seasons Houston ホテルにて開催された。WSC-2002 と同時開催であり、19名出席、また、電話による会議参加サービスで2名の参加があった。



TCCS 会議の様子

TCCS 委員長である TRW Dr. Smith の開会宣言に続き、出席者全員の自己紹介。日本からは、下名の他に、飯田委員（通信総研理事長）、北爪委員（ジェピコ社顧問）に加え、オブザーバーとして、通信総研鈴木部門長、NT スペース小淵部長、三菱電機横江課長、アイシーエス企画平間さんが出席。

現在の TCCS 委員総数は37名、その構成は、米国27名、カナダ4名、フランス1名、日本3名、ルクセンブルグ2名である。委員候補8名がリストアップされているが、この内4名のアプリケーションフォーマットが提出されていない為、督促することになった。

ICSSC-20 の反省として、TCCS の Sub Committee として「展示 Committee」を作ることになった。Boeing Space Systems 社の Ms. Klein-Lebbink 他が委員に任命された。

次に、TCCS 委員会関連の Web-site として、下記5サイトのアップデートの紹介があった。

Main TCCS : www.aiaa.org/tc/cms/

General ICSSC : www.aiaa-icsc.org

ICSSC-21 : www.ics-inc.co.jp/aiaaicssc21/

Space Japan Review (English version) : www.aiaa.org/sjr/

Space Japan Review (Japanese version) : www2.crl.go.jp/mt/b150/SJR/

通総研鈴木部門長より JFSC の活動状況 (会誌の発行状況、WSC2002 での Colloquium の状況等) を報告。Space Japan Review の英文版は AIAA 本部の判断にて有料となっているが、購読者数が少ない為、無料化の提案が出た。(日本語版は無料)AIAA 本部でしんぎすることとなった。

この後、下名より、ICSSC-21 の準備状況を報告、また、展示小間数拡販の協力を依頼した。



TCCS 会議翌日の ICSSC-21 準備状況審査会

米国のイラク攻撃が ICSSC-21 以前に開始された場合の影響とその対策をコメントしたが、米国側 TCCS 委員は全員大きな影響 (会議出席者、出展等) は出ないだろうとの見解であった。また、企業によっては会社方針として海外出張禁止が出される場合も考えられるが、そのような企業は少ないだろうとのコメントも出た。

2003 年の Award は 5 件以上の推薦があり、新規約に従い、

ICSSC-21 でも Aerospace Communications Award が出されることになった。

2005 年開催の ICSSC-2005 は欧州の予定であり、次の案を進めることが可決された。

- 特徴 : Ka-band Conference と共催
- 開催時期 : 2005 年 9 月
- 開催場所 : イタリア ローマ市
- 展示 : 会場となるホテルによるが、会議のみとする。
- General Chair : 欧州からアサインする前提で検討

最後に、次回 TCCS 委員会を 1 月 6 日米国リノ市で開催することを決め、閉会。

以上